

H25 年度 第 2 回仁淀川地域アクションプランフォローアップ会議の概要

日時：平成 26 年 2 月 4 日（火）14:00～16:30

場所：日高村社会福祉センター 2 階会議室

1 議事等

(1) 地域アクションプランについて

1) 仁淀川地域アクションプランの進捗状況等について

- ・第 4 四半期の仁淀川地域の重点的な取組状況や、特筆すべき動きなどについて、主なものを説明

2) 事例報告について

- ・高知県立伊野商業高等学校、株式会社エスエス、NPO 法人佐川くろがねの会から地域アクションプランに関連する取組事例を報告

3) 平成 26 年度仁淀川地域アクションプラン（案）について

- ・統合 1 件、拡充 1 件、修正 6 件を含む地域アクションプラン（案）について説明
- ・案について了承された

(2) 産業振興計画の改定等について

1) 第 2 期産業振興計画（Ver. 3）の改定のポイントについて説明

2) 平成 26 年度移住促進策のバージョンアップについて説明

3) 平成 26 年度観光振興部の取組について説明

【意見交換】

<仁淀川地域アクションプランの進捗状況等について>

- ・特になし

<仁淀川地域アクションプランの事例報告について>

- ・伊野商業高校の国際観光科では、卒業後の進路はどうなっているか。
→観光関係の企業へ進むことは少ない。国際観光科で学んできたことを生かして、海外に留学する人もいる。
- ・株式会社エスエスが製造している「ネコ砂」の原料に関して、木質系の中で間伐材の割合はどの程度か。また、茶葉はドリンクに使用した後の茶殻を使っているのか。
→木質系原料のうち間伐材の割合は約 50%、また、茶葉は茶殻ではなくコストはかかるが地元で生産された茶をパウダーにしたものを使っている。
- ・佐川町では、土産物が少ない、休憩する場所がないといった課題あるとの報告があったが、今後の期待される動きはあるのか。
→観光協会の事務所がある浜口邸での土産物販売が小さいながらスタートした。もっと佐川町にお金を落としてもらえるシステムを考えていきたい。

<平成 26 年度仁淀川地域アクションプラン（案）について>

- ・木材価格の下落で業界の状況は厳しいが、こんな中でも森林組合として林家を守っていきたい。
- ・宇佐地域の活性化のため、海から近いという利点を活かして、漁業と商業とで連携

した観光メニューづくりができないかと思っている。

- ・製紙業界は、円安の影響で輸入原料が値上がりし経営が厳しい状況である。一方で、最終製品として地元での製品化を進める動きが徐々に浸透しつつある。

<産業振興計画の改定等について>

- ・特になし

●お問い合わせ先

高知県産業振興推進部計画推進課（地域担当）

電 話 088-823-9334

FAX 088-823-9255

メール 120801@ken.pref.kochi.lg.jp